

国語 力だめし1 出題の趣旨と解答・解説

課題1 文章・資料を比較して読む。

「次は、木村さんがおもしろい文章があると紹介してくれた二つの文章です。よく読んであとの問いに答えなさい。」

【A】

「 ① 」
将棋じまんの男が、三番続けて負けてしまいました。数日後、「この間は、何局指したんだい?」「と、友だちにたずねられた男は、「三局」と、答えました。「で、勝敗はどうだった?」「とたずねられると、「一局目は、オレが勝たなかった。二局目は、向こうが負けなかった。三局目は、オレが勝つつもりだったが、相手が勝たせてくれなかった」

(注1)局 きよく、開碁(かいこ)や将棋などの勝負を数えるときの単位。

【B】

『的(まと)の神様』
ある武将が戦いで負けそうになったとき、どこからともなく神様があらわれて、助けてくれました。武将が神様にお礼の言葉を言ったあとで、「ところで、あなたは何の神様ですか?」「とたずねると、「わしは的の神様じゃ」と答えました。「的の神様が、どうして私を助けてくれたのですか?」「武将がたずねると、「おまえは弓の訓練をやっても、一度もわしを射たことがないからのお。そのお礼じゃ」

(1) 【A】の①には題名が入ります。題名は、A、Bの文章中で共通した話題を表す言葉が含まれています。ふさわしい題名を考えて書きなさい。

負けず嫌い

(2) 木村さんは、「B」の文章のおもしろさを説明してくれました。木村さんの言葉に続く説明を考えましょう。

この文章のおもしろいところは、弓が的を射ることができないと戦いに負けてしまうのに、**的を射ることをしなかったから助けてもらうことができたという意外なところ。**

(3) 二つの文章の書かれ方の共通点についてまとめた次の文の()に適切な文を書きましよう。

・二つの文章はともに、登場人物が(二人である)。
・どちらの文章も、最後の言葉で(笑いをさそう構成になっている)。

課題2 文章の表現のしかたや特徴に注意しながら読む。

二 次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) **向日葵** (は金の油を身にあびてゆらりと高し日のちひささよ 前田 夕暮)

(2) なぜ、その言葉がふさわしいと考えたのか、理由を簡潔に書きなさい。

石楠花(しづくなが) 向日葵(ひまわり) 薔薇(ばら) 水仙(すいせん)

短歌の構成から考えると、はじめの句は5文字なので、かつこには4文字が入ると良いことと、**金の油が向日葵の黄色い花びらをたとえており、高いというのも背の高い向日葵と考えられるから。**

出題の趣旨

学習指導ツール「ワークブック」グループB
⑥川柳シリーズ (No.066~070)
グループA
⑥小ばなしシリーズ (No.026~035、No.181~190)

・表現の仕方に注意して、内容を読み取ることができるか。
・二つの文に共通した面白さについて読み取り、自分の考えを書くことができるか。

【解答例】

(1) 負けず嫌い

【A】【B】のどちらの話題にも出てくる言葉は、「負ける」という言葉。負けを認めたくない様子を表す題名であれば正解とする。

(2) 的は射るものであるのに、それに当たらないと武将としては恥ずかしいことであるのに、それが、命を救うことになったという皮肉な結果について説明できていれば正解とする。

(3) 二人である。笑いをさそう構成になっている。

「勝負に強いはずの男に負ける」等の文の内容ではなく、文の構成や述べ方について書いていれば正解とする。

出題の趣旨

学習指導ツール「ワークブック」グループA
⑦詩、短歌、俳句シリーズ (No.381~395)
グループB
⑫近現代文学に興味を持つとうシリーズ 詩歌編1~25 (No.336~360)
⑥川柳シリーズ (No.66~70)
⑪百人一首シリーズ (No.396~420)

・短歌に表れている言葉を手がかりに、自分の考えや経験もふまえて考え、適切な言葉を選ぶことができるか。

【解答例】

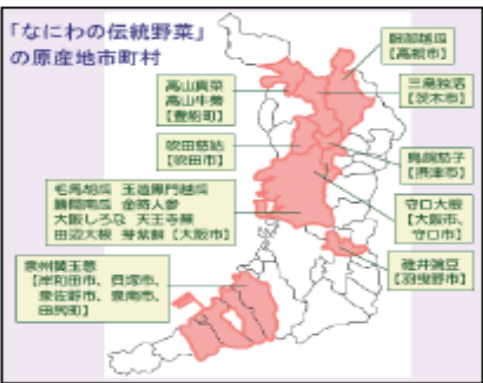
(1) 向日葵

短歌の構造のきまり(五・七・五・七・七)と「金の油」「高し」等の言葉を手がかりに内容に触れるという二面から理由を書けていれば正解とする。

三、坂本さんは冬休みの自由研究で、大阪の伝統野菜について調べようと考え、次のような資料を集め、クラスの人に紹介するパンフレットを作ることになりました。資料をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

「なにわの伝統野菜」の収穫時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
吹田葱												
金時人参												
玉造門地豆												
三島茄子												
天王寺葱												
高山真菜												
鳥飼茄子												
すいたん												
三島茄子												
吹田葱姑												
泉州黄玉葱												
高山真菜												
高山牛蒡												
守口大根												
天王寺葱												
三島茄子												
吹田葱												
三島茄子												



泉州黄玉葱
 ぜんしゅうおうたまねぎ
 泉南地域で明治時代から選抜された黄色玉葱。代表的な品種に、今井早生や貝塚極早生がある。肉質はみずみずしくて柔らかく、球形が扁平となる。



高山真菜
 たつやまご
 豊能町高山地区で江戸時代から栽培されているアブラナ科のつけな類。茎の部分が柔らかく甘味がある。



吹田葱姑
 かわくわい
 吹田市で江戸時代以前から自生していたクワイ。現在流通のクワイとは異なる小型のクワイで、えぐ味が少なく栗のようなほくほくした甘さがある。



すいたん
 吹田市制が70周年を迎えるにあたり、デザインと愛称を公募して誕生したのが「すいたん」です。吹田の特産「吹田くわい」がモチーフになっており、右肩に情熱を表すハートを左肩には市民の花「さつき」をつけています。



(大阪府ホームページより)

(1) パンフレットの構成を次のように考えました。この案のとおりパンフレットを作るには資料が足りません。どの部分を書くためにどのような資料が必要か、二つさとして下の口に簡潔に書きなさい。

○パンフレットの構成案
 1. 「なにわの伝統野菜とは」
 2. なにわの伝統野菜紹介

1. 「なにわの伝統野菜とは」を書くためには、なにわの伝統野菜とは何か、普通の野菜とはどう違うかがわかる資料が必要。

2. なにわの伝統野菜紹介の③鳥飼茄子を書くために、鳥飼茄子の①と②を詳しく説明した資料。

(2) 旬(しゅん)の大阪の伝統野菜の紹介のコーナーも作ろうと思います。今(1月)が旬(しゅん)の大阪の伝統野菜をすべて書きなさい。

金時人参 田辺大根 高山真菜 (天王寺葱)

(3) 坂本さんはまず、パンフレット案の2の「なにわの伝統野菜紹介」の②の案を作ってみました。間違いない、わかりやすい文章にするためには直したほうが良いところがあります。どこを直すと良いか、下の口に簡潔に書きなさい。また、良いところも書きなさい。

<高山真菜について>
 産地:大阪府南部の豊能町高山地区
 いつから栽培:江戸時代
 特徴:アブラナ科のつけな類で茎の部分がやわらかくて、甘みがあって、私は食べたことがあって、けっこう好きなのですが、弟は嫌いだと言っています。

(直したほうが良いところ)
 ・豊能町が大阪府南部になっている。
 ・特徴のところは、事実だけを書くべきであるのに、書き手の個人的な感想や考えが書かれてあり、一文も長い。
 (良いところ)
 ・説明内容について、項目を立てて、短めの文章で読みやすく書いている。

出題の趣旨

資料から必要な情報を選ぶことができるか。目的を持って様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てることができるか。

学習指導ツール
 「ワークブック」
 グループA
 ⑤新聞記事シリーズ
 (No.021~025)

【解答例】

(1)「なにわの伝統野菜とは」を書くために、なにわの伝統野菜とはどんな野菜か、他の野菜と違うところは何かがわかる資料。

(2)金時人参、田辺大根、高山真菜、(天王寺葱)
 天王寺葱が出るのは、1月中旬までと読み取れるので、力だめし実施時期が1月中旬までであれば、書いていても正解とする。

大阪しろな、芽紫蘇は年中出回っているので、旬はないところから不正解とする。

(3)直したほうが良いところ
 ・豊能町が大阪府南部になっているところ。
 ・特徴のところは、事実だけを書くべきであるのに、書き手の個人的な感想や考えが書かれてあり、一文も長い。

二項目については、事実と感想が混ぜられているところに触れていれば正解とする。

(良いところ)
 ・書いてある内容について、見出しのなかに項目立てがしてあるところ。
 項目の設定に触れていれば、正解とする。